

令和 6 ・ 7 年度福島県知財戦略推進計画

関連事業一覧

(別紙 2)

| NO | 事業名 | 事業概要 | 取組主体 | 令和 6 年度の実績 (R6.4.1～R7.3.31) | 令和7年度の現況 (R7.4.1～R7.8.31) |
|----|--|--|------------------------|---|--|
| 1 | ・ひとつ、ひとつ、実現するものづくり 企業支援事業【R6】 ・ものづくり中小企業開発・開拓推進事業【R7】 (ふくいろキラリプロジェクト) | 地域産業復興・創生アドバイザーである東北大学大学院の堀切川教授による御用聞き訪問を通じ、県内中小企業の埋もれた技術力の発掘、製品開発への気づきを提供し、開発型企业への転換を図る。 | 福島県産業振興課 | ・ 5月から35社を訪問 (会津、県北、県中、県南、いわき、相双) ・ 11件の新製品を開発 | ・ 5月から18社を訪問 (会津、県中、県南、いわき) |
| 2 | ・ひとつ、ひとつ、実現するものづくり 企業支援事業【R6】 (中小企業販路開拓等支援) ものづくり中小企業開発・開拓推進事業【R7】 (マーケティング人材育成) | 【R6】 県内企業のパッケージ製作や展示会等への出展を支援するとともに、楽天市場への出店支援やバイヤーツアーの開催を通じて、県内企業の開発製品の販路開拓支援を行う。 【R7】 販売のノウハウがない企業に対し、マーケティング人材育成に係る支援を行うことで、販売の自走化を促進する。 | 福島県産業振興課 | 【中小企業販路開拓等支援事業】 ・ 展示会、販売会を実施 (2/12～15) (42社60製品を展示) ・ バイヤーツアーを実施 (2/26～27：4社参加) | 【マーケティング人材育成】 ・ セミナーの開催 7/29：21名参加 ・ 5社に対し伴走支援 ・ 2月に展示会、販売会を開催予定 |
| 3 | ・ひとつ、ひとつ、実現するものづくり 企業支援事業【R6】 ・ものづくり中小企業開発・開拓推進事業【R7】 (ハイテクプラザ巡回開発支援) | 開発型企业への転換に向け、新製品の開発など、ハイテクプラザが企業訪問等により課題解決を支援する。 | 福島県産業振興課 福島県ハイテクプラザ | ・ 企業訪問：393件 (県北105、県中70、県南22、 会津82、南会津5、相双60、 いわき46、県外3) ・ 開発支援：18件 ・ 現場支援：35件 | ・ 企業訪問：209件 (県北55、県中45、県南16、 会津46、南会津3、相双21、 いわき23) ・ 開発支援：9件 ・ 現場支援：32件 |
| 4 | ・事業戦略・知財戦略等構築支援事業【R6】 ・オーダーメイド型支援チームによるハンズオン支援事業【R7】 | 事業戦略、知的財産戦略、標準化戦略などの総合的な開発戦略を行う専門機関とともに、開発構想から事業化、販路開拓まで総合的な事業戦略・知財戦略等の構築を支援することで、企業利益の最大化と競争力強化を図り、質の高い知的財産権の取得を促進する。 | 福島県産業振興課 | 【事業戦略・知財戦略等構築支援事業】 ・ 支援先：10社 ・ 特許 1 件出願 (登録済)、意匠 1 件出願、 商標 2 件出願 (1件登録) | 【オーダーメイド型支援チームによるハンズオン支援事業】 ・ 支援先10社のうち 7 社採択 |
| 5 | ・知的財産普及啓発・人材育成事業【R6】 ・イノベーションへ向けた知財戦略普及促進事業【R7】 | 県内中小企業や自治体職員、地域産業支援機関等を対象に、知的財産に係るセミナーやワークショップ等を開催し、知的財産の普及啓発を進めるとともに、知的財産を活用できる人材の育成を行う。 | 福島県産業振興課 | 【知的財産普及啓発・人材育成事業】 セミナー・ワークショップの開催状況 (講師：溝口督生弁理士) ・ いわき市(8/29：8企業、10名参加) ・ 会津若松市 (9/12：10企業、15名参加) ・ 郡山市 (11/13：13企業、17名参加) ・ 南相馬市 (12/5：8企業、10名参加) ・ 白河市 (1/23：11企業、15名参加) | 【イノベーションへ向けた知財戦略普及促進事業】 セミナー・ワークショップの開催状況 (講師：溝口督生弁理士) ・ 会津若松市 (9/26開催予定) ・ 福島市 (10/22開催予定) ・ 南相馬市 (11/6開催予定) ・ 郡山市 (12/24開催予定) ・ いわき市 (1/19開催予定) |

令和 6 ・ 7 年度福島県知財戦略推進計画

関連事業一覧

(別紙 2)

| NO | 事業名 | 事業概要 | 取組主体 | 令和 6 年度の実績 (R6.4.1～R7.3.31) | 令和7年度の現況 (R7.4.1～R7.8.31) |
|----|--|--|-------------|--|---|
| 6 | ・価値デザイン経営推進事業【R6】 ・デザイン経営推進人材育成事業【R7】 | <p>【R6】 内閣府知的財産戦略本部が提唱した「価値デザイン経営」の知識・手法について、各自治体及び産業支援機関への普及・啓発を図る。県内中小企業に対しては、専門家同席によるワークショップを開催することで、「経営デザインシート」を活用したユーザーの求める価値を創出・提供できる自社製品の開発、ビジネスモデルの構築を促進する。</p> <p>【R7】 「価値デザイン経営」の手法を中小企業への導入促進を図る必要があるため、その担い手となる産業支援機関等に対し人材育成や普及啓発を行う。</p> | 福島県産業振興課 | <p>【価値デザイン経営推進事業】</p> <p>セミナー・ワークショップの開催状況 (講師：近藤泰祐氏、五島宏明氏)</p> <p>・支援機関向け 7/4：10機関、12名参加</p> <p>・企業向け 郡山市 ①8/19：7企業、10名参加 ②9/9：4企業、8名参加 いわき市 ①10/7：5企業、5名参加 ②11/11：4企業、4名参加</p> <p>・専門家による支援：4社</p> | <p>【デザイン経営推進人材育成事業】</p> <p>セミナー・ワークショップの開催状況 (講師：近藤泰祐氏、五島宏明氏)</p> <p>・支援機関向け 7/7：5機関、7名参加 8/7：7機関、8名参加</p> <p>・企業向け 郡山市 ①8/7：11機関、12名参加 ②10/20開催予定 いわき市 ①10/2開催予定 ②11/20開催予定</p> <p>・専門家による支援：3社（予定）</p> <p>※参加した支援機関のうち、条件を満たした受講者に対して県から認定書を発行する。</p> |
| 7 | ・広域連携産業支援ネットワーク構築事業【R6】 ・企業連携人材育成事業【R7】 | <p>【R6】 県内各地域の産業支援機関等を中心に中核となる企業、人材の発掘・育成とネットワーク構築を推進し、取組の継続的な実施体制の形成を図る。</p> <p>【R7】 これまでの取組に加え、①県内2地域でセミナーを実施、②技術課題解決によるマッチング支援を実施、することで、県内企業に対し、マッチングニーズと知的財産の掘り起こしを行う。</p> | 福島県産業振興課 | <p>【広域連携産業支援ネットワーク構築事業】</p> <p>広域連携に係るワークショップの開催状況（年4回）</p> <p>・第1回 6/25：23機関、33名参加</p> <p>・第2回 8/27：12機関、24名参加</p> <p>・第3回 10/31：17機関、33名参加</p> <p>・第4回 1/30：12機関、26名参加</p> | <p>【企業連携人材育成事業】</p> <p>広域連携に係るワークショップの開催状況（年4回）</p> <p>・第1回 6/27：24機関、45名参加</p> <p>・第2回 8/28：20機関、42名参加</p> <p>セミナー開催予定（郡山市、南相馬市）</p> |
| 8 | 弁理士による知的財産の掘り起こし事業 | 企業が気づいていない知的財産を掘り起こすことに長けた弁理士（目利き力の高い弁理士）を日本弁理士会の協力により選任し、その弁理士が県内企業を訪問して知的財産の掘り起こしを行い、特許出願に向けた伴走支援を行う。 | 福島県産業振興課 | | <p>・日本弁理士会の推薦により3名の弁理士を選任</p> <p>・支援対象：3社（予定）</p> <p>・伴走支援5回（予定）</p> |
| 9 | 知財総合支援窓口運営業務 | 県内企業の知財制度の理解と権利取得及び活用等を、常駐する窓口支援担当者により無料で相談支援を行う。必要に応じ、訪問相談及び専門家との協働、支援機関との連携による支援によりワンストップサービスを提供する。 | (一社)福島県発明協会 | <p>【運営業務実績】</p> <p>①相談件数：2,113件</p> <p>②連携支援件数：719件</p> <p>・令和7年度もINPITより受託済。</p> | <p>【運営業務目標・実績】</p> <p>①相談件数：目標2,100件（8月末現在：940件）</p> <p>②連携支援件数：目標590件（8月末現在：294件）</p> <p>・令和8年度以降は競争入札による。</p> |

令和 6 ・ 7 年度福島県知財戦略推進計画 関連事業一覧

(別紙 2)

| NO | 事業名 | 事業概要 | 取組主体 | 令和6年度の実績 (R6.4.1～R7.3.31) | 令和7年度の現況 (R7.4.1～R7.8.31) |
|----|---------------------------------|---|-----------------------------|--|---|
| 10 | ふくしま産業応援ファンド事業 | (公財) 福島県産業振興センターへ基金を設置し、県内中小企業の開発構想の構築に対して、市場調査、事業可能性調査及び開発試作並びに販路開拓にかかる経費を助成する。 | 福島県産業振興課 (公財)福島県産業振興センター | 【採択実績】 ・ 5/1付けで7件採択（申請19件） （技術開発5件、販路開拓2件） ・ 11/1付けで8件採択（申請13件） （技術開発2件、事業可能性調査1件、販路開拓5件） | 【採択実績】 ・ 5/1付けで8件採択（申請14件） （技術開発4件、事業可能性調査1件、販路開拓3件） ・ 8/4～9/12で第2回公募を実施中 |
| 11 | 知的財産活用推進事業 | 本県の知的財産活動の積極的な推進を図るため、県内企業等の特許情報の利活用普及、発明の奨励、知的財産取得補助を行うほか、産学官金言支援機関等からなる「ふくしま知財戦略協議会」を開催し、県内企業の産業競争力強化及び地域経済の活性化を図る。 | 福島県産業振興課 (一社)福島県発明協会 | ・ 福島県発明展：10/26～27開催 （郡山市労働福祉会館） ・ 知財巡回相談会：福島市で5回開催 （実績：5回、相談5件） ・ 企業内研修として特許情報活用セミナーの開催 （実績18回） | ・ 福島県発明展：11/1～3開催予定 表彰式：11/24開催予定 （いずれも郡山市労働福祉会館） ・ 知財巡回相談会：福島市で5回開催 （8月末実績：2回、相談2件） ・ 企業内研修として特許情報活用セミナーの開催 （実績0回） |
| 12 | 特許等調査・出願経費助成事業 | 県内企業による特許等の調査に係る経費、国内出願・審査に係る経費の一部を助成する。また、令和6年度より県内に本社機能のある中小企業については、一の案件に関する特許等について複数の出願を助成対象とする。 | 福島県産業振興課 (公財)福島県産業振興センター | ・ 第1回公募（5/20～6/28） ・ 第2回公募（9/17～10/25） ・ 第3回公募（11/19～12/13） 【採択実績】 ・ 申請35件、採択35件 （特許23件、意匠4件、商標11件） | ・ 第1回公募（5/20～6/30） ・ 第2回公募（9/8～10/10）（予定） 【採択実績】 8/5付けで11件採択(申請11件) （特許4件、意匠1件、商標10件） |
| 13 | 中小企業等海外展開支援事業費補助金 (経済産業省補助金) | 県内中小企業等に対して、戦略的な外国への特許出願等を支援するため、外国への特許、実用新案、意匠登録、商標登録にかかる各出願費用の一部を補助する。 | (公財)福島県産業振興センター | ・ 第1回公募（5/20～6/20） ・ 第2回公募（7/16～8/30） ・ 第3回公募（9/24～10/25） 【採択実績】 ・ 採択5件（申請5件） （特許2件、商標3件） | ・ 第1回公募（5/20～6/30） 【採択実績】 8/4付けで5件採択(申請5件) （特許4件、商標1件） |

令和 6 ・ 7 年度福島県知財戦略推進計画 関連事業一覧

(別紙 2)

| NO | 事業名 | 事業概要 | 取組主体 | 令和 6 年度の実績 (R6.4.1～R7.3.31) | 令和7年度の現況 (R7.4.1～R7.8.31) |
|----|------------------------------|--|--------------------------|---|--|
| 14 | 起業・新事業創出支援事業 | 県内の起業機運の醸成や創業経費の一部補助等に加え、新規のプロジェクト立ち上げに向けた支援や、スタートアップの成長支援を行うことで、県内全域での起業・新事業創出に向けた取組を実施する。 | 福島県産業振興課 | ・県のインキュベーションマネージャーにおいて、随時知財相談が必要な先については、発明協会と連携のうえ対応。 ・大学教員等に対しては、技術や研究要素も多いことから、別途予算化し、知財支援を実施（9者）。 | ・県内に進出しているスタートアップや県内大学教員等に対して、適宜発明協会と連携しながら知財支援を実施。 |
| 15 | イノベーション創出プラットフォーム事業 | 福島イノベーション・コースト構想の推進に向けて、県内外から革新的なビジネスアイデアや事業化を目指す事業者を呼び込み、専門家による助言・指導等の支援や、実証費用等の補助、地元サポーターとの連携を実施することで、浜通り地域等 1 5 市町村におけるイノベーションを創出するビジネス創生を推進する。 | 福島県産業振興課 | ・プログラム採択者35者に対し、伴走支援、実証支援等の補助金を交付（補助金は34者へ交付）。 ・7月に知財をテーマに特許庁によるセミナーを実施。 ・1月の成果発表会には、コメンテーターとして特許庁を招聘。 | ・プログラム採択者：36者 ・上記36者に対し、伴走支援、実証支援等の補助金交付を実施していく。採択者への伴走支援の中で、知財をテーマにしたセミナーを7月に実施済み。 |
| 16 | 地域復興実用化開発等促進事業 | 福島イノベーション・コースト構想の重点分野について、地元企業との連携等による実用化開発等を促進し、浜通り地域等の早期の産業復興を実現すべく、浜通り地域等において実施される実用化開発等の費用を補助する。 | 福島県産業振興課 | 【採択実績】 ・継続提案：24件 ・新規提案：20件 | 【採択実績】 ・継続提案：22件 ・新規提案：8 件 |
| 17 | 福島イノベーション・コースト構想重点分野等事業化促進事業 | 福島ノベーション・コースト構想の重点分野における実用化開発プロジェクト等を中心に、知見を有する人材を配置し、各種課題の抽出・解決を図るとともに、経営戦略の構築・見直し及び地元企業とのマッチング等を進め、事業化に向けた伴走支援を行う費用を支援する。 | 福島県産業振興課 | 知財戦略支援として、22社を対象に知的財産に関する助言、特許性調査、出願代理業務の支援を実施。 ・調査業務：23件 ・出願：19件（特許10件、商標9件） ・査定・登録：11件（特許6件、商標5件） （査定は前年度以前の出願を含む。） | イノベ機構が実用化開発プロジェクトの事業化に係る知財戦略支援として、知的財産出願に向けた調査支援や出願手続き等の支援を実施。 （R7年度支援想定：20社）。 |
| 18 | 特許等特例適用のための証明書発行 | 浜通り地域等において、イノベ重点分野における新たな特許に係る国内特許の特許料等や国際出願に係る手数料等を減免するための証明書を発行する。 | （公財）福島イノベーション・コースト構想推進機構 | ・証明書発行件数：7件 | ・証明書発行件数：3件 |

令和 6 ・ 7 年度福島県知財戦略推進計画 関連事業一覧

(別紙 2)

| NO | 事業名 | 事業概要 | 取組主体 | 令和 6 年度の実績 (R6.4.1～R7.3.31) | 令和7年度の現況 (R7.4.1～R7.8.31) |
|----|-------------------------------------|--|--|---|---|
| 19 | つながる特許推進事業 (知的財産の保護及び活用に関する連携協定) | ①普及啓発、②人材育成、③実務支援、及び④福島県での復興・イノベーション創出に資する企業への支援の 4 つを柱とし、これらの柱に基づいた支援事業等を実施する。 | 福島県産業振興課 (公財) 福島イノベーション・コースト構想推進機構 特許庁 | ①普及啓発 ・県内での各種セミナーの開催 ・特許庁広報誌「とっきょ」による事例紹介（(同) 良品店、(同) ねっか、(同) 楽膳、三義漆器店（株）） ②人材育成 ・県、イノベ機構職員向け研修の開催 ・特許庁との人事交流に向けた協議（R7からの開始に向け） ③実務支援 ・特許庁が知財戦略協議会、知財支援連絡会に参画 ④復興・イノベーション創出に資する企業の支援 ・震災復興支援早期審査制度の利用実績：特許5件、意匠5件、商標83件（R7.3月末までの累計） ・スタートアップに対するプッシュ型支援件数：2件 | ①普及啓発 ・県内での各種セミナーの開催 ・特許庁広報誌「とっきょ」による県内企業の事例紹介（クフウシヤ、他3社予定） ②人材育成 ・県、イノベ機構職員向け研修の開催 ・特許庁との人事交流 ③実務支援 ・特許庁が知財戦略協議会、知財支援連絡会に参画 ④復興・イノベーション創出に資する企業の支援 ・震災復興支援早期審査制度の利用実績：特許12件、意匠11件、商標111件（R7.8月末までの累計） |
| 20 | 「売れるデザイン」イノベーション事業 | 「ふくしまクリエイターズバンク」により、デザイナー等のクリエイターと県内事業者とのマッチングによる商品開発を行うほか、令和 6 年度は「ベストデザインコンペティション」を開催し、優れたデザイン等の県産品を表彰することで、県内事業者へデザイン等の重要性を周知する。 また、ふくしまベストデザインコンペティションの受賞商品及びふくしまクリエイターズバンクでの開発商品の販路拡大、認知度向上を図る取組を実施する。 | 福島県県産品振興戦略課 | ・「ふくしまクリエイターズバンク」について計10事業者に活用いただいた。 ・「ふくしまベストデザインコンペティション2024-25」を開催し、166商品の応募の中から11商品が各種賞を受賞した。受賞商品については、福島県観光物産館及び日本橋ふくしま館で特別販売を実施した他、「ふくしまの酒・味噌醤油まつり」に併せて、商談会を実施し、来場したバイヤーに商品を P R した。 | |
| 21 | 新品種育成事業 | 新たな農産物及び林産物のオリジナル品種を開発・育成を行うことにより、本県において生産される農林産物のブランド力を強化し、生産振興と農林業所得の向上を図るとともに、風評を払拭していくため、新品種育成に係る必要な手続きを行う。 | 福島県農林企画課 | 令和 7 年1月に県オリジナル品種のである酒米の「福乃香」及び水稻の「福笑い」が品種登録された。 | 令和 7 年1月に県オリジナル品種である酒米の「福乃香」及び水稻の「福笑い」が品種登録された。引き続き本県オリジナル品種の開発・育成の研究を進め、県産農林産物のブランド力強化を推進し、生産振興と農林業の所得向上を図るとともに、風評払拭に努めていく。 |

令和 6 ・ 7 年度福島県知財戦略推進計画

関連事業一覧

(別紙 2)

| NO | 事業名 | 事業概要 | 取組主体 | 令和 6 年度の実績 (R6.4.1～R7.3.31) | 令和7年度の現況 (R7.4.1～R7.8.31) |
|----|------------------------|---|--|---|---|
| 22 | オリジナル品種開発導入事業 | 県産農産物のブランド力向上のため、水稻を始め、アスパラガス、リンドウ、りんご等について、生産者や消費者のニーズに対応できる栽培特性、品質、商品性等を有する競争力の高い品種を開発する。 | 福島県農業振興課 福島県農業総合センター | ・本県の主力品目で、かつ民間業者等での取組が少ない下記の9品目について、消費者や実需者等のニーズに合致したオリジナル品種の開発に取り組んでいる。 水稻（うるち、もち、酒造好適米）、アスパラガス、イチゴ、リンドウ、カラー、モモ、日本ナシ、リンゴ、ブドウ | ・本県の主力品目で、かつ民間業者等での取組が少ない下記の9品目について、消費者や実需者等のニーズに合致したオリジナル品種の開発に取り組んでいる。 水稻（うるち、もち、酒造好適米）、アスパラガス、イチゴ、リンドウ、カラー、モモ、日本ナシ、リンゴ、ブドウ |
| 23 | 福島県産農産物競争力強化事業（研究） | 震災・原発事故による風評等の影響で失った県産農林水産物の販売棚を回復させるため、市場ニーズに対応した魅力ある県オリジナル品種や高品質な農産物の生産技術、県産農産物の旨みや機能性の見える化などの技術開発を行う。 | 福島県農業振興課 福島県農業総合センター | ・農作物の品種開発では、交配・交雑、個体選抜、系統選抜、生産力検定試験、特性検定試験、現地適応試験（現地試作試験）を実施している。 ・和牛の旨み成分及び官能評価を活用した新たな評価指標の開発や農作物の機能性成分の一次加工後の含有量を明らかにし、見える化を図っていく。 | ・農作物の品種開発では、交配・交雑、個体選抜、系統選抜、生産力検定試験、特性検定試験、現地適応試験（現地試作試験）を実施している。 ・和牛の旨み成分及び官能評価を活用した新たな評価指標の開発や農作物の機能性成分の一次加工後の含有量を明らかにし、見える化を図っていく。 |
| 24 | 福島イノベ構想に基づく水産業先端技術展開事業 | 本県水産業の復興を進め、ふくしま型漁業を実現するため、ICT等の最先端技術を用いた新たな水産業を展開していくための実証研究を行う。 | 福島県水産課 福島県水産海洋研究センター 福島県水産資源研究所 福島県内水面水産試験場 | 【現地実証研究】 効率的な漁業生産活動を支援するため、多様な漁業種類に対応した情報収集・配信システムの実証に向け、プイ及び水温計等による漁海況情報収集、デジタル操業日誌による操業情報の収集、HPによる収集データの配信を進めた。 ICT技術を用いた効果的な種苗放流等を実現するため、ホシガレイ稚魚のバイオテレメトリー（発信器装着）放流、ホシガレイ親魚及びトラフグのバイオロギング（水温水深記録装置装着）放流を実施し、移動生態及び放流効果を把握した。 【研究成果の社会実装促進】 優良形質を持つアユ種苗の安定生産・供給体制確立に向け、遺伝的手法を用いた親魚選抜技術及び閉鎖循環型飼育施設による種苗生産技術を漁協及び種苗生産団体へ普及させる取り組みを実施した。 | 【現地実証研究】 効率的な漁業生産活動を支援するため、多様な漁業種類に対応した情報収集・配信システムの実証に向け、プイ及び水温計等による漁海況情報収集、デジタル操業日誌による操業情報の収集、HPによる収集データの配信を進めた。 ICT技術を用いた効果的な種苗放流等を実現するため、ホシガレイ稚魚のバイオテレメトリー（発信器装着）放流、ホシガレイ親魚及びトラフグのバイオロギング（水温水深記録装置装着）放流を実施し、移動生態及び放流効果を把握した。 【研究成果の社会実装促進】 優良形質を持つアユ種苗の安定生産・供給体制確立に向け、遺伝的手法を用いた親魚選抜技術及び閉鎖循環型飼育施設による種苗生産技術を漁協及び種苗生産団体へ普及させる取り組みを実施した。 |
| 25 | 福島イノベ構想に基づく農業先端技術展開事業 | 大規模な農業経営が実現可能となる先端技術の実証研究により、さらなる営農再開や経営規模の拡大を図るとともに、最先端の作業ロボットや管理システムを組み合わせた技術確立により、新規の就農者確保や企業参入等を促進する。 | 福島県農業振興課 福島県農業総合センター | ・広域エリアを対象とした大規模水田営農における生産基盤技術の確立、施設野菜・畑作物の省力高収益栽培・出荷管理技術の確立、輸出対応型果樹生産技術の開発・実証構築、育成センサーの開発と日本のスマート農業の創出、先端技術を活用した鳥獣被害対策システムの構築・実証、化学肥料・化学農薬に頼らない耕畜連携に資する技術の開発・実証、プラズマ生成装置開発と植物免疫向上による病害防除効果の実証、果菜類のロボット収穫技術の開発を実施している。 | ・広域エリアを対象とした大規模水田営農における生産基盤技術の確立、施設野菜・畑作物の省力高収益栽培・出荷管理技術の確立、輸出対応型果樹生産技術の開発・実証構築、育成センサーの開発と日本のスマート農業の創出、先端技術を活用した鳥獣被害対策システムの構築・実証、化学肥料・化学農薬に頼らない耕畜連携に資する技術の開発・実証、プラズマ生成装置開発と植物免疫向上による病害防除効果の実証、果菜類のロボット収穫技術の開発を実施している。 |